

第 1 章 秋田県のすがた

第 1 節 地 勢・沿 革

1 地 勢

本県は、首都東京のほぼ真北約450kmの日本海沿岸にあって面積11,637.5km²(全国第6位)、13市9町3村に区分されています。

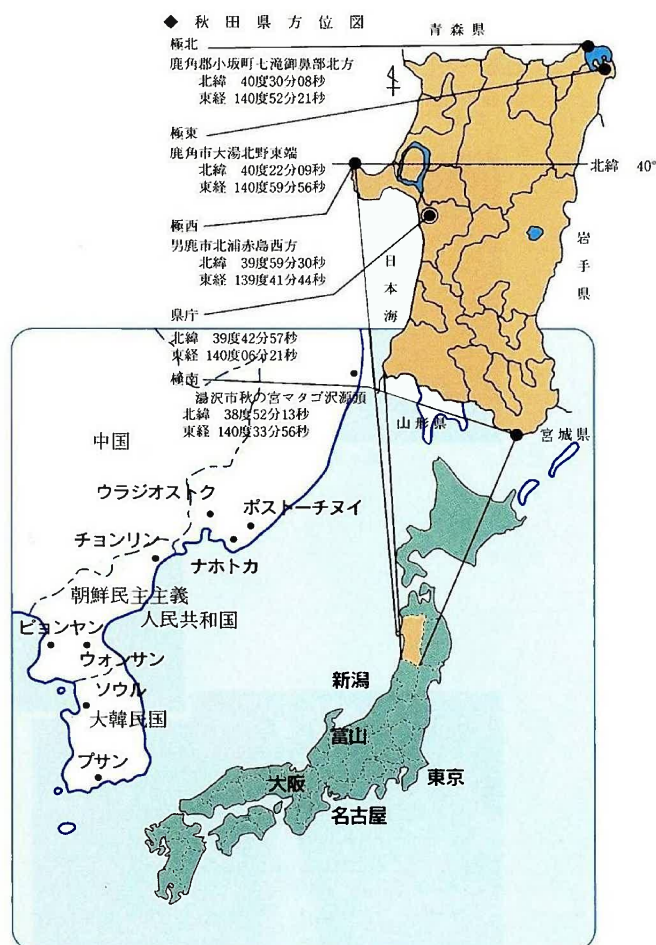
県北には、鷹巣、大館、花輪の諸盆地、県南には横手盆地などがあり、また雄物川、米代川、子吉川などの河川に沿って肥沃な耕地が展開し、その下流には秋田、能代、本荘の各平野が開け、多くの都市が発展しています。

2 沿 革

秋田の地名が歴史に現れたのは、斉明4年(西暦658年)、阿部比羅夫が蝦夷を支配下に置いたときと伝えられています。

関ヶ原合戦後の慶長7年(西暦1602年)佐竹義宣が常陸より国替を命ぜられ、秋田6郡20万石の領主となりました。その後、明治維新までの約260年間の間に、鉱山の開発や新田の開拓など、産業経済の礎を築いてきました。

明治4年の廃藩置県により秋田県が誕生して以来、多くの人々が郷土の発展に力を尽くし、今日の秋田が築かれてきました。



年 月 日	羽 後 国	陸 中 国
明治2年まで	秋田郡 山本郡 河辺郡 仙北郡 平鹿郡 雄勝郡 久保田藩 領↓ 久保田藩	由利郡 鹿角郡 南部 領↓ 南部藩
明治3年2月24日	岩崎藩(雄勝郡東部)立藩	
明治4年1月13日	久保田藩を秋田藩と改称	
明治4年7月14日	秋田県	江刺県
明治4年11月2日	秋田県	岩崎県、亀田県、本荘県、矢島県、酒田県の一部(旧仁賀保領)及び江刺県のうちいまの鹿角市、鹿角郡を編入した。
平成18年3月27日	平成16年度～17年度 市町村合併 「9市50町10村」から「13市9町3村」となった(詳細はP4)。	

第2節 自然・気象

1 自然

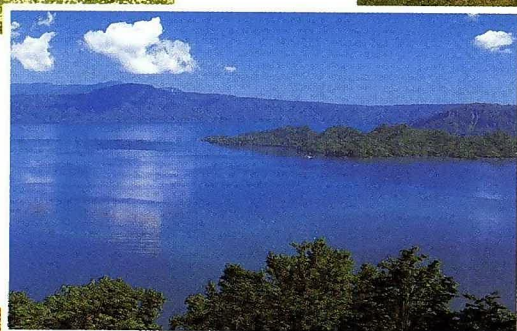
本県は、全国で6番目という広い面積を持ち、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪色といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然を誇り、その息吹を身近に感じながら生活することができます。



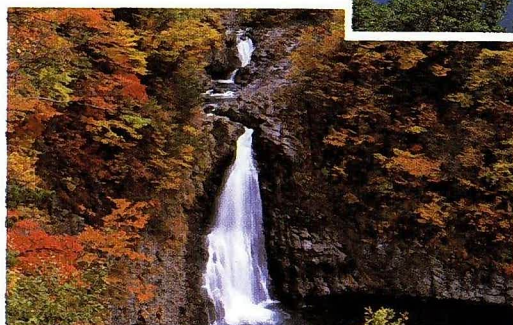
駒ヶ岳とチングルマ



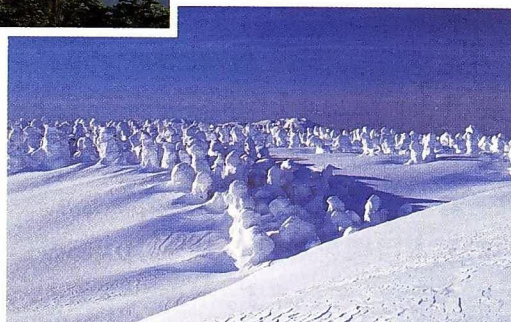
入道崎



十和田湖



法体の滝



樹氷の八幡平

2 気候

本県の気候は、概ね出羽山地により海岸部と内陸部の2つに区分されます。海岸部は全般的に馬海流の影響を受けてしのぎやすく、冬期間でも積雪は少なめです。

内陸部は夏には比較的高温となり、冬は寒さが厳しく積雪も多くなります。県の面積のほぼ半分が特別豪雪地帯となっています。

全般に長い冬と短い夏が特徴で、四季の変化がはっきりしています。

	秋 田	札 幌	仙 台	東 京
最 低 気 温 (°C)	−9.7	−12.7	−6.7	−4.0
最 高 気 温 (°C)	37.6	33.9	37.3	39.0
年 平 均 気 温 (°C)	12.3 (11.7)	9.5	13.6	16.8
年間日照時間 (h)	1,526.2 (1,526.0)	1,741.6	1,998.4	2,112.2
年 降 水 量 (mm)	2,016.5 (1,686.2)	1,282.0	1,082.0	1,445.5
降 水 日 数 (日)	168 (172.3)	157	106	103
雪 日 数 (日)	101 (98.9)	131	63	11
最 深 積 雪 (cm)	34 (38)	89	19	23

※資料：気象庁HP「平成30年気象データ」

※秋田の()書きは平年値(1981～2010の30年間の平均)

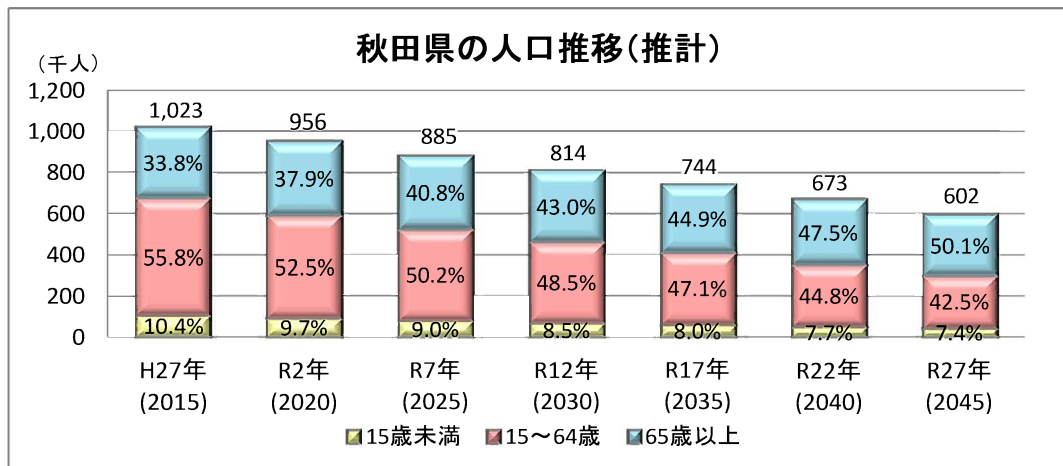
第3節 人口・産業構造・面積

1 人 口

本県の人口は、平成31年4月1日現在で97万702人と、平成29年4月に100万人を割り込んで以来、減少傾向が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、本県の人口は、令和27(2045)年に60.2万人となり、2015年比の減少率は全国で最大の41.2%と推計しています。

また、本県の65歳以上の人口が占める2045年の高齢化率は全国で最も高い50.1%で、0～14歳の年少人口の割合は全国最低の7.4%と推計され、本県の人口減少と少子高齢化が、今後、一層進むものと予想されています。



※資料：「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

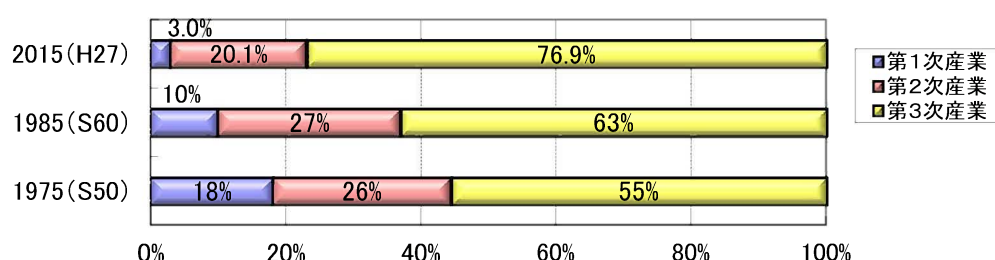
2 経済・産業構造

平成27年度の本県の経済規模を示す県内総生産は、名目で3兆4,461億円、物価変動の影響を除いた実質では3兆6,056億円となっています。

県内総生産を経済活動の種類別にみると、平成26年度と比較し、農業、運輸業、卸売・小売業などで増加したほか、建設業でもわずかに増加、一方、鉱業や製造業、電気・ガス・水道業などで減少し、全体では第1次産業は増加、第2次・第3次産業は減少しています。

区 分		H26年度	H27年度	対前年度比較	
				金額	率(%)
秋 田 県	県内総生産(名目)	34,586(億円)	34,461(億円)	-125(億円)	-0.4
	県内総生産(実質)	36,646(億円)	36,056(億円)	-590(億円)	-1.6
	県民所得	25,582(億円)	25,324(億円)	-258(億円)	-1.0
	1人当たり 県民所得	2,467(千円)	2,475(千円)	8(千円)	0.3
全 国	国内総生産(名目)	5,178,666(億円)	5,321,914(億円)	143,248(億円)	2.8
	国内総生産(実質)	5,103,931(億円)	5,171,953(億円)	68,022(億円)	1.3
	国民所得	3,783,183(億円)	3,884,604(億円)	101,421(億円)	2.7
	1人当たり 国民所得	2,977(千円)	3,059(千円)	82(千円)	2.8

【県内総生産の産業別構成比】



※資料：「平成27年度秋田県県民経済計算速報」(秋田県)

3 面 積

本県の総面積は約11,637.5km²、全国第6位で、東京都、埼玉県、千葉県の合計を上回ります。

また、比較的大きかった各市町村の面積規模が、市町村合併によりさらに大きくなり、由利本荘市と北秋田市の合計だけで東京都や沖縄県を上回り、神奈川県にほぼ等しい面積になります。

◆秋田県市町村区域図

